

# 気道熱傷の治療のため、当院に入院・通院された患者さんの診療 情報を用いた医学系研究に対するご協力をお願い

|       |  |
|-------|--|
| 研究責任者 | 所属 <u>救急医学</u> 職名 <u>教授</u><br>氏名 <u>佐々木 淳一</u><br>連絡先電話番号 <u>03-3225-1323</u> |
| 実務責任者 | 所属 <u>救急医学</u> 職名 <u>助教</u><br>氏名 <u>山元 良</u><br>連絡先電話番号 <u>03-3225-1323</u>   |

このたび当院では、上記のご病気で入院・通院された患者さんの診療情報を用いた下記の医学系研究を、医学部倫理委員会の承認ならびに病院長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施しますので、ご協力をお願いいたします。

この研究を実施することによる、患者さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。

本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨を「8 お問い合わせ」に示しました連絡先までお申し出下さいますようお願いいたします。

## 1 対象となる方

西暦 2012 年 1 月 1 日より 2019 年 3 月 31 日までの間に、当院救急科にて気道熱傷と診断され来院・入院し、診療・手術・検査などを受けた方

## 2 研究課題名

承認番号 20180195

研究課題名 気道熱傷患者における遅発性上気道狭窄のリスク因子の検討

## 3 研究実施機関

慶應義塾大学医学部救急医学・慶應義塾大学病院救急科

| <u>共同研究機関</u> | <u>研究責任者</u> |
|---------------|--------------|
| 東京都済生会中央病院    | 関根 和彦        |
| 栃木県済生会宇都宮病院   | 加瀬 建一        |
| 川崎市立川崎病院救急科   | 田熊 清継        |

#### 4 本研究の意義、目的、方法

火災などに伴い気道に熱傷を負うと、徐々に空気の通り道が狭くなり、遅発的に上気道狭窄をきたすことがあります。現時点では、上気道狭窄を誘発するリスクははっきりとしておらず、嚴重に経過を見る必要があります。患者さんの診療情報からそのリスク因子を詳細に検討することにより、当院の気道熱傷の診療の質の向上を図り、気道熱傷の診療の進歩に貢献することを目的としております。

#### 5 協力をお願いする内容

患者さんの診療情報を閲覧し、治療内容や血液・画像検査データなどを収集します。

#### 6 本研究の実施期間

実施許可日～2020年3月31日

#### 7 プライバシーの保護について

- 1) 本研究で取り扱う患者さんの個人情報、氏名、性別、生年月日および患者番号です。その他の個人情報（住所、電話番号など）は一切取り扱いません。
- 2) 本研究で取り扱う患者さんの診療情報は、個人情報をすべて削除し、第三者にはどなたのものか一切わからない形で使用します。
- 3) 患者さんの個人情報と、匿名化した診療情報を結びつける情報（連結情報）は、本研究の個人情報管理者が研究終了まで嚴重に管理し、研究の実施に必要な場合のみに参照します。また研究計画書に記載された所定の時点で完全に抹消し、破棄します。
- 4) なお連結情報は当院内のみで管理し、他の共同研究機関等には一切公開いたしません。

#### 8 お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

また本研究の対象となる方またはその代理人（ご本人より本研究に関する委任を受けた方など）より、診療情報の利用の停止を求める旨のお申し出があった場合は、適切な措置を行いますので、その場合も下記へのご連絡をお願いいたします。

山元良・救急医学・03-3225-1323（土曜日と病院休診日を除く午前9時～午後5時まで）

以上